

松戸市長 本郷谷健次 様

「広報まつど」十月十五日号記事での

事実をねじ曲げた記述の撤回と謝罪を求める抗議文

「市立病院の建て替えに一定の方向性」と題する記事が「広報まつど」十月十五日付けに掲載された。ところが、この記事には重大な事実を反する記述があることが判明した。

日本共産党は、「広報まつど」で、市民に対して、市立病院建て替え構想など、その詳細計画をお知らせすることについては積極的に賛成してきた。しかし、今回の市立病院の建て替えについての誤った記述は到底容認するわけにはいかない。

問題となる点は以下の文である。

「構想3とは、現在の市立病院のある上本郷には、現在、上本郷で行っている総合外来診療と東松戸病院で行っているリハビリなどの機能を充実した日常支援病院を整備する計画です」と記述されているなど、東松戸病院が上本郷に移設されると誤解されかねない点が一つ。

さらに、「今後も、千駄堀の調整区域の土地を賃借するための地権者の同意、千駄堀への交通手段の確保、東松戸病院移設に伴う課題などまだ解決する問題があります。千駄堀には将来の拡張・建て替えに十分な用地を確保できると、また、市の中心に位置する上本郷で従来通りに総合外来診療を実施でき、かつ千駄堀の病院と上本郷の病院との距離的な近さなどが評価されたものです」と述べている点である。

市議会特別委員会の中間報告では東松戸病院の上本郷への移転についてまったく触れていない。にもかかわらずあなたも議会側が了承したかのようにとれる事実をねじ曲げた記述をしており、まったく許せないことである。

こうした事実をねじ曲げた記述は市民の判断を惑わすことになるもので、直ちに撤回すべきである。

また、市議会特別委員会の中間報告とも異なる内容であり、市民と議会に対し、謝罪することを強く要求するものである。

二〇一一年十月十七日

日本共産党松戸市議団

